

■ 研究課題名

3 食中毒及び感染症を引き起こす細菌の病原性因子の探索に関する研究

■ 研究の概要

近年ゲノム解析技術の向上により、既報の毒素遺伝子と塩基配列の類似する新規毒素用遺伝子報告が菌種を問わず続いている。これらの新規配列を基にした毒素が、実際に発現し機能するのは不明な点が多い。また、センター保有株の中には未同定の毒素用遺伝子が存在し、それらが原因となった疾患が今後発生する可能性も考えられる。本研究では、次世代シーケンサー（NGS）解析による網羅的ゲノム解析を端緒として、細菌性毒素疾患の起病性をゲノム構造などの観点から評価することを目的に詳細なゲノム解析による新規毒素因子の同定、機能解析及びその効率的な検出系の確立により行政対応への応用を行うことを目的とする。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科

鈴木 康規

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。